

# KeepPerと全てのコーティングに

# ミネラル オフ(はっ水阻害被膜 除去) 作業マニュアル

## ミネラル オフの目的

ボディガラスコーティング表面のミネラルを取り、本来のツヤ、水はじきに戻す。

- 水が弾かないのは、ミネラルのせいです。
- ミネラル オフで簡単に取れます。
- 泥水、水道水にミネラルは含まれています。
- すると、見違えるほど弾きます。

## 用意するもの



## 洗車

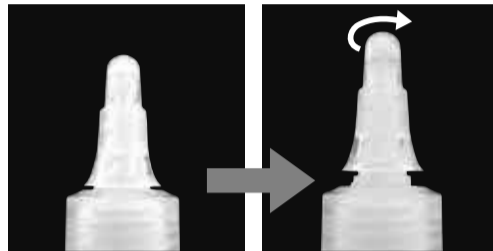


① 手洗い洗車 or 洗車機の水洗い洗車で泥やホコリを洗い流す。洗車作業後は必ず車を濡らしたままにしておく。

## 準備



② ミネラル オフのボトルを逆さにしてよく振る。容器を逆さにして、5回以上よく振ってください。



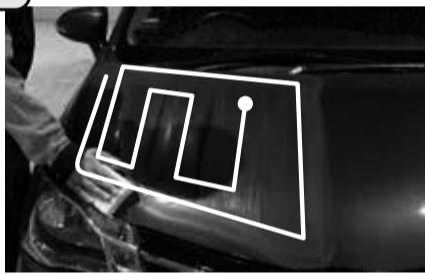
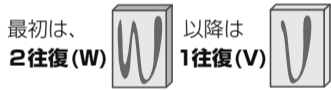
③ キャップの頭を90°ひねる。キャップの頭を約90°ひねると、液剤が出るようになります。

## ミネラル オフ作業

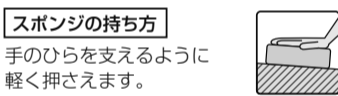
ボディが濡れた状態で作業。



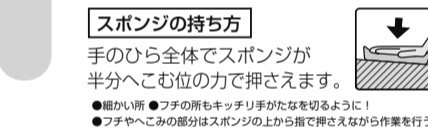
④ 水をよく絞ったスポンジに適量付ける。



⑤ 塗り広げる。ボンネット半分位の面積に一定方向に「隙間」なく、フチまでしっかり塗り広げる。



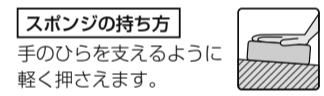
⑥ ミネラルを除去する。スポンジを⑤とクロスする方向に擦り込み、ミネラルを除去する。



●細かい所 ●フチの所もキッチリ手がたなを切るように！  
●フチやへこみの部分はスポンジの上から指で押さえながら作業を行う。



⑦ ミネラル オフを軽く拭き取る。スポンジを裏返してキレイになっているか確認しながら残ったミネラルオフを軽く拭き取る。



スポンジを絞る

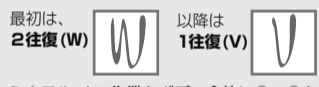
スポンジを絞る

全体に施工する

## ●ミネラル汚れが頑固な場合

ミネラル オフ作業で使用する道具をスポンジから「ダイヤクロス」に変えて作業すると頑固なミネラルがよく掻き取れ、キレイになります。

水をよく絞ったダイヤクロスを四つ折りにしてミネラル オフを適量付ける。



ミネラル オフ作業をボディ全体に④～⑦を繰り返します。



## 拭き上げ



⑧ エアガンで隙間の水を追い出し、固く絞ったキーパークロスとタオルを両手に持って拭き上げをする。

## 確認



⑨ 最後に拭き残しがないか、キーパークロスとタオルを用いて、確認しながら仕上げを行う。

## 作業上の注意

劣化したゴム、プラスチックモールなどは極力触らない。触れた場合は、水に湿らせよく絞ったキーパークロスで拭き取る。

## ミネラル オフ(はっ水阻害被膜 除去) Q&A 集

### Q. ミネラル オフ (はっ水阻害被膜取り) って、どんな商品なの？

A. カーコーティングの水ハジキを邪魔するミネラル膜(はっ水阻害被膜)を除去する商品です。カーコーティングを施工した後、だんだん水ハジキや艶が弱くなってきた車におすすめ。コーティングをかけたときの水ハジキと艶を取り戻します。洗車+20分で仕上がります。

### Q. 「ミネラル膜」って何？ どうしてつくの？

A. ミネラル膜は、水道水や黄砂、雪道の融雪剤などに含まれるミネラルが車にかかって蓄積し、膜になったものです。特にキーパー以外のボディガラスコーティングは、カーコーティングの表面がミネラル膜と同じ無機質のため、ミネラルがこびり付きやすくなります。

### Q. キーパーコーティングに、ミネラルオフをしても良いの？

A. もちろん良いです。ただし、クリスタルキーパーやダイヤモンドキーパーなどは独自の2層構造で、表面にミネラル汚れがこびり付きにくいので、ミネラルオフをする必要はほとんどありません。しかし使用条件が良くない場合、ミネラル汚れが蓄積することもあるため、ミネラルオフが有効になります。

### Q. カーコーティングのメンテナンスと一緒にしないの？

A. いいえ、違います。カーコーティングのメンテナンスは、カーコーティングの被膜の表面を整え、手入れするものです。ミネラルオフは、カーコーティングの被膜そのものには影響を与えずに、こびり付いたミネラル膜を取る「キーパーが発明した新技術」です。